商品名　ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	2171 冠血管拡張剤	一般名	ニフェジピン5mgカプセル
英名	Nifedipine SAWAI	剤型	カプセル
薬価	6.10	規格	5mg 1カプセル
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	(劇)

ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」の効能・効果

腎性高血圧症、本態性高血圧症、狭心症

ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、心原性ショック、急性心筋梗塞

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 僧帽弁狭窄、大動脈弁狭窄、肺高血圧、過度に血圧の低い、血液透析療法中の循環血液量減少を伴う高血圧、高度左室収縮機能障害、うっ血性心不全、不安定狭心症、重篤な腎機能障害、重篤な肝機能障害、急性心筋梗塞

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」の副作用等

1. 紅皮症、はく脱性皮膚炎、無顆粒球症、血小板減少、ショック、血圧低下、一過性意識障害、AST上昇、ALT上昇、γ－GTP上昇、肝機能障害、黄疸

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

2. ALT上昇、Al－P上昇、AST上昇、黄疸、BUN上昇、クレアチニン上昇、顔面潮紅、熱感、のぼせ、動悸、潮紅、血圧低下、頻脈、起立性低血圧、浮腫、下肢浮腫、顔面浮腫、胸部痛、頻尿、発汗、悪寒、頭痛、めまい、倦怠感、眠気、不眠、振戦、脱力感、筋痙攣、四肢しびれ感、異常感覚、悪心、嘔吐、便秘、下痢、口渇、胸やけ、食欲不振、上腹部痛、腹部不快感、鼓腸、過敏症、そう痒、発疹、光線過敏症、紫斑、血管浮腫、歯肉肥厚、代謝異常、高血糖、血小板減少、貧血、白血球減少、呼吸困難、咳嗽、鼻出血、鼻閉、女性化乳房、視力異常、霧視、眼痛、筋肉痛、関節痛、関節腫脹、勃起不全

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

3. 症状が悪化、過度の血圧低下、ショック症状、一過性意識障害、脳梗塞、催奇形性、胎仔毒性、胎児胎盤循環低下、症状が遷延、過度の降圧、反射性頻脈、全死亡

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ニフェジピンカプセル5mg「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等 ： 降圧剤

発現事象	相互に血圧低下作用を増強、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	薬理学的な相加・相乗作用	指示	注意

2. 薬剤名等 ： β遮断剤

発現事象	相互に作用を増強、心不全、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	薬理学的な相加・相乗作用	指示	注意

3. 薬剤名等 ： ジゴキシン

発現事象	血中濃度が上昇、中毒症状＜悪心・嘔吐・頭痛・視覚異常・不整脈等＞	投与条件	-
理由・原因	ジゴキシンの腎及び腎外クリアランスが減少	指示	注意

4. 薬剤名等 ： シメチジン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強、頻脈、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	シメチジンが肝血流量を低下させ、本剤の肝ミクロソームでの酵素代謝を抑制、胃酸を低下させ、本剤の吸収を増加	指示	注意

5. 薬剤名等 ： ジルチアゼム

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	ジルチアゼムが本剤の肝代謝（チトクロームP−450酵素系）反応を抑制し、クリアランスを低下	指示	注意

6. 薬剤名等 ： トリアゾール系抗真菌剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強、浮腫、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	トリアゾール系抗真菌剤が本剤の肝代謝（チトクロームP−450酵素系）反応を抑制し、クリアランスを低下	指示	注意

7. 薬剤名等 ： リファンピシン

発現事象	本剤の有効血中濃度が得られず作用が減弱、血圧上昇、狭心症発作の悪化	投与条件	-
理由・原因	リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピンにより誘導された肝薬物代謝酵素（チトクロームP−450）が本剤の代謝を促進し、クリアランスを上昇	指示	注意

8. 薬剤名等 ： フェニトイン

発現事象	本剤の有効血中濃度が得られず作用が減弱、血圧上昇、狭心症発作の悪化	投与条件	-
理由・原因	リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピンにより誘導された肝薬物代謝酵素（チトクロームP−450）が本剤の代謝を促進し、クリアランスを上昇	指示	注意

9. 薬剤名等 ： カルバマゼピン

発現事象	本剤の有効血中濃度が得られず作用が減弱、血圧上昇、狭心症発作の悪化	投与条件	-
理由・原因	リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピンにより誘導された肝薬物代謝酵素（チトクロームP−450）が本剤の代謝を促進し、クリアランスを上昇	指示	注意

10. 薬剤名等 ： タクロリムス

発現事象	血中濃度が上昇、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	本剤がタクロリムスの肝代謝（チトクロームP−450酵素系）反応を抑制し、クリアランスを低下	指示	注意

11. 薬剤名等 ： シクロスポリン

発現事象	歯肉肥厚	投与条件	-
理由・原因	両剤の相加的な作用	指示	注意

12. 薬剤名等 ： HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤のAUCが上昇、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	本剤とこれらの薬剤の肝代謝酵素が同じ（CYP3A4）であるため、競合的に拮抗し、本剤の代謝が阻害	指示	注意

13. 薬剤名等 ： キヌプリスチン・ダルホプリスチン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	キヌプリスチン・ダルホプリスチンが、CYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスを低下	指示	注意

14. 薬剤名等 ： 硫酸マグネシウム水和物

発現事象	神経筋伝達遮断の増強、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	降圧作用や神経筋伝達遮断作用が増強	指示	注意

15. 薬剤名等 ： グレープフルーツジュース

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強、過度の血圧低下	投与条件	-
理由・原因	グレープフルーツジュースに含まれる成分が、CYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスを低下	指示	注意

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
Drug Intelligence Reinforce
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.